

# 富津市立保育所自己評価書

( 佐貫保育所 )

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和3年4月～令和4年2月

令和4年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	A	連絡ノート、健康カード等、活用したり、送迎時話をしたりしながら、家庭との連携を図り一人ひとりの健康状態を把握しながら保育をしている。保育所室内、園庭等、定期的に安全点検を行い環境を整えている。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、関わっているので安心感を持って過ごしている。基本的な生活習慣を身につくように援助している。子どものやりたい気持ちを尊重しながらゆとりのある環境の中で、一人ひとりが自然にリズムを作っていけるように関わっている。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	豊かな自然の中で、子どもの発見やつぶやきを大切にに関わってきた。子どもの発見したことを部屋に掲示して可視化することで、新たな気づきにつなげていった。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごさせている。	A	保育士と楽しく遊ぶ中で、遊びを共有して信頼関係を築いた。子ども達が十分に思いを發揮できるように、サポートしていったので、安心して過ごさせている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	年長児が目的を持って取り組んでいる様子を知らせるようにしていたので、小さい組は憧れをもって挑戦していた。子ども同士で遊びが楽しめるように、保育士は気持ちを汲み取って関わったり、見守ったりした。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	B	子ども達が、自分で解決策を見いだせるように、子ども達の話聞きとったり、話を整理したりしながら関わっていったので相手の思っていることに気付くことができている。

	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	B	生活や遊びの中で、子ども達が決まりの大切さに気づけるように保育士は一緒に考えたり、促したりしている。また、自分で考えられるように、見守っている。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	B	安全に活動できるように、下見をしたり、点検をしたりしている。子ども達が、身近な自然に触れたり、泥、水、砂で思い切り楽しんだりする中で、五感を使って遊ぶ時間や場を十分に作るようにしている。散歩に出かける機会をもう少し増やしたい。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	子ども達が生活や遊び、散歩や野菜の栽培等を通して、形、色、大きさ、量、音等に気づいたり、調べたり、試したりする中で、更に興味が深まってきている。保育士は、子ども達の興味が深められるよう環境を整えている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	虫の観察を通して、変化のあることに気づいていた。子ども達が観察できるように工夫したり、子どもが気づけるようにタイミングを逃さず関わったりした。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	B	当番活動や日常生活の中で文字や数量に興味、関心を持つことができるように環境を作ったり、関わったりしていった。子ども達が考えたことをポスターにして掲示する等、取り入れると更に良かったと思う。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	一人ひとりの子ども達に丁寧に関わり、その子に合った対応をする中で、安心して自分の気持ちが伝えられるように配慮している。子どもがうまく伝えられない時は、選択肢をさせたり、気持ちを聞き共感したりする中で、表出できるように関わっている。

	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	各クラスの年齢、興味、関心に合った絵本の読み聞かせをしたり、貸し出しをしたりして家庭でも楽しむことができるようにしている。日々の、読み聞かせから、劇遊びに発展させることができた。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	自分の話したいことを話せるように、周りが聞く姿勢をとれるようにしたり、安心して話せる雰囲気を作ったりしている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	話したい気持ちを受け止めた上で、話すことが嫌にならないように言葉の意味やその場に合った使い方を知らせている。また、友達同士の中で、教え合う姿も見られるので、様子を見守っている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	子どもの興味に合わせて遊べる場、時間を十分に確保することができ、五感を使った体験をさせられた。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	各年齢に合わせて、保育士と一緒にわらべ歌や手遊びを楽しんだり、音楽に合わせて体を動かしたりした。表現することを受け止めたり、共感したりして次につながるよう関わった。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	自然に触れたり、生活する中で、気づいたり、試したりできるように、子どもの興味を見逃さず、遊びに反映できるように関わった。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	子どもが感じたことをみんながイメージしやすいように、絵や写真などで掲示して可視化していき、友達と共有できるようにした。
保護者への支	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	B	保護者面談を行い、家庭との連携を図っている。また、必要に応じて相談できるようにしている。

	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	保護者からの情報は、必要に応じて児童票、日誌等、記録して管理している。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	アンケート調査を行い、保護者の意見、要望等伺い、今後の保育内容改善に役立てた。送迎時に声をかけながら話しやすい雰囲気を中心している。保護者からの意見や要望に対して、すぐに対応している。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	B	行事のねらい、計画等、職員で話し合いをして実施している。その際、子ども主体となるようにしている。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	コロナ禍の為、保護者参加の行事が中止となったり、人数制限を行ったりしたこともあったが、保護者の意見を聞きながら対応してきた。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	年間の計画を立て、更に実施前には行事計画書を作成して、職員で話し合っ実施している。実施後は職員で反省をして、次につなげている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報などを適正に取り扱っている。	A	個人情報等記載された書類は、所定の場所で管理している。また、知り得た情報は、全職員が守秘義務として漏らさないように徹底している。
	園内研修を実施している。	A	定期的に園内研修を行い、職員のスキルアップにつなげている。また、研修会に参加して知り得た情報を報告し合い、共通理解を深めている。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	B	送迎時に保護者が見られるように、保育所での様子を掲示したり、必要な情報を掲示したりした。行事の取り組みの様子は知らせることはできた。コロナ禍で保育参加等中止となっているので、日常の様子の掲示をもう少し増やしていこうと思う。